

9年間の学びをつなぐ



かわわんプラン

9年間を貫いた教育目標を定め、1年生から9年生までのつながりを意識した切れ目のない教育活動を行い、子どもたちの発達段階と一人ひとりの特性に応じた学びを大切にします。

本校公式キャラクター
「かわわん」

一人ひとり大切な only ONE

- ・会津若松市第7次総合計画
- ・会津若松市教育大綱・教育振興基本計画
- ・会津若松市教育行政推進プラン
- ・会津若松市教育委員会学校教育課グランドデザイン2024
- ・あいづっこ宣言

<教育目標>
**心身ともにたくましく
 情操豊かに未来を拓く
 河東学園の児童生徒の育成**

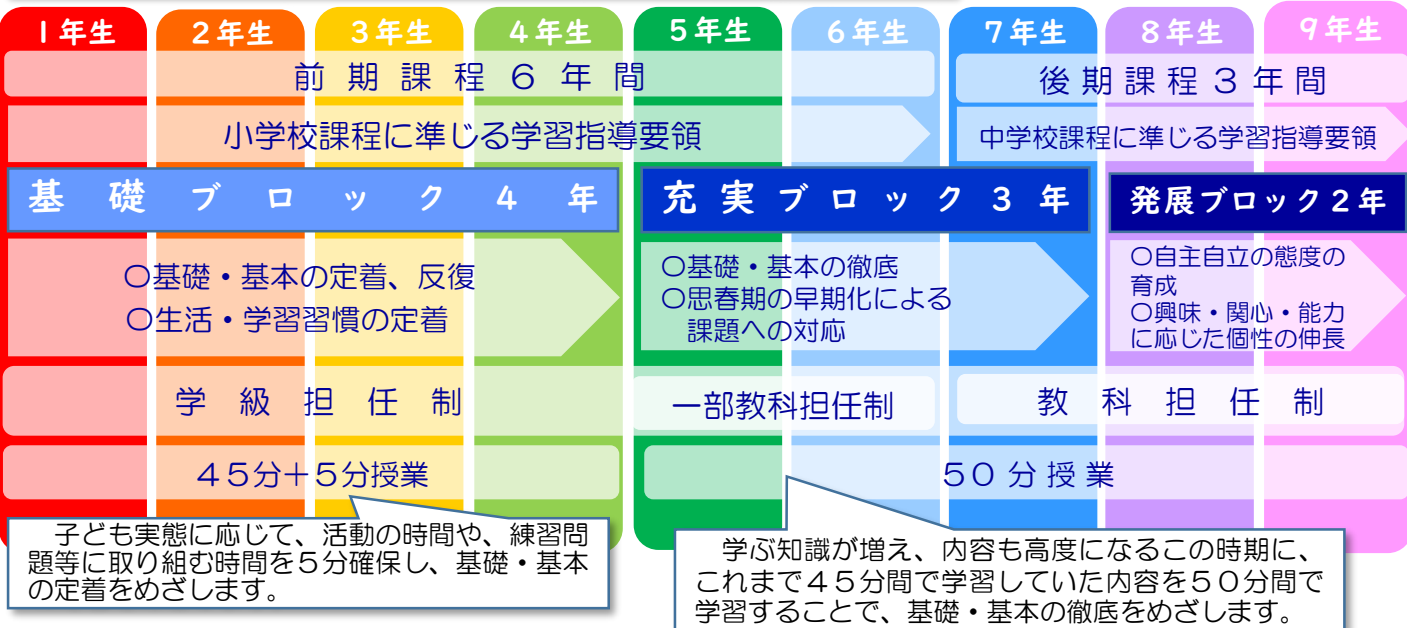
- 高め合う児童生徒
- 認め合う児童生徒
- 夢に向かってがんばる児童生徒

ONE TEAM 河学

結びつき
和ん

学園生の実態
 保護者の願い
 地域の願い
 教職員の願い

義務教育9年間を4年-3年-2年の3つのブロックへ

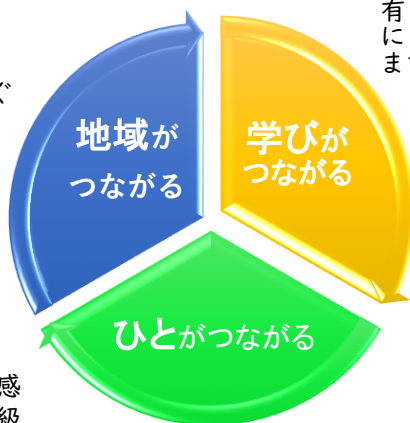


3つがつながる

コミュニティースクール
 (地域とともにある学校づくり)
 学校運営協議会を設置し、地域総ぐるみで子どもたちを育てます。

河東学園応援隊
 (地域学校協働活動)
 地域人材や教育資源を活用し、郷土への愛着を深め、よりよい社会づくりに向けて、主体的に行動する態度を育成します。

異学年交流
 人と関わる機会を増やし、自己有用感や責任感を育み、上級生への憧れと下級生への思いやりの心の醸成を図ります。



9年間を通したカリキュラム

指導方針や各発達段階で育てたい力を共有し、9年間の系統性・連続性のある取組により、確かな学力の定着、向上をめざします。また、ICT教育の充実を図ります。

学習指導の充実

前期課程での教科担任制や前期・後期課程間での乗り入れ授業等、専門性を活かした魅力ある授業の展開、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。また、5年生から50分授業を導入し、学力向上を図ります。(部活動の早期参加に伴う技術向上)

切れ目のない一貫した支援

9年間を通して子どもを見守り育てる生徒指導体制により、問題行動の未然防止と早期対応を図ります。また、特別な支援を必要とする子どもについて、全教職員が共通理解します。

基礎ブロック 4年

充実ブロック 3年

発展ブロック 2年

確かな学力の育成

めざす姿

学習習慣を身に付け、自分の考えをもち、進んで表現することができる

学び合いを通じて思考力と表現力を高めることができる

主体的・対話的に学び互いに高め合うことができる

こんな教育活動を通して

- 「河っ子学びプラン」を基にした、9年間一貫した学び方及び学習習慣と学習意欲の育成
- 「めあてや課題」を明確にし、主体的・対話的で深い学びと「まとめ」を大切にしたいわかる授業の構築
- AIドリル、習熟度別・TT指導（少人数教育の推進）等による個別最適な学びの支援
- ICTによる思考ツールやプレゼンテーションツール等を活用した思考力、判断力、表現力の育成
- 全国学調、ふくしま学調の結果分析の共有と授業改善
- 「會津教学教えの心得」「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」の実現

- 学びの集団づくり～学力向上の基盤づくりとしてのQ-Uの活用
- 学びの定着・活用～「河っ子検定」「AIドリル」「活用力育成シート」「チャレンジテスト」
- 各種検定等受検の促進～漢字検定・英語検定・数学検定へのチャレンジ
- 「今月の詩・文章」の選定と群読の支援
- ラーニングセンターの効果的な活用（読書活動の推進）
- 家庭における学習習慣の向上～家庭学習の習慣化と内容の充実

豊かな心と社会性の育成

めざす姿

きまりを守り、仲よくできる

仲間との関わりを深め、互いに信頼し協力して活動できる

自他のよさや違いを認め、関わりの中で温かな人間関係を築くことができる

こんな教育活動を通して

- 「あいさつをする」「身支度・履き物を整える」「時間を守る」「清掃に真剣に取り組む」「相手の話を聴く」の重点5項目の徹底指導
- 「あいづっこ宣言」に基づく具体的行動目標の策定と指導
- 教職員全員による、全校生が自分の児童生徒であるという思いの共有
- 異学年交流や地域の人々との交流の充実

- 学校教育全体を通じた道徳教育推進（別業活用）
- 「考え、議論する」道徳科の授業の充実
- 偏見や差別、誹謗・中傷、いじめ等が生じない指導
- 不登校・いじめの未然防止と組織的的確な対応（「こころの窓」シート活用、教育相談の充実、他機関との連携）
- 情報モラル教育の充実（SNSのルール・「あいづっこ『携帯・スマホ等の使い方』宣言」の活用）

健やかでたくましいからだの育成

めざす姿

「早寝・早起き・朝ごはん」を推進し、運動や遊びに進んで取り組むことができる

自己の生活習慣に関心をもち、各種の運動に積極的に取り組むことができる

自らの心身の健康管理や体力の向上に進んで取り組むことができる

こんな教育活動を通して

- 9年間をつなぐ保健教育かわっ子アプローチ「かわっぷ」の実現
- 「早寝・早起き・朝ごはん」等の基本的な生活習慣の確立
- 「メディアバランス」・「家読」等の活用による生活習慣の改善
- 学習や生活を計画的に行うことができる自己マネジメント力の育成
- 体力向上推進計画の確実な実施と評価

- 柔軟性改善のための「柔軟+1（プラスワン）」の実践
- 部活動週末合同練習会等の幅広い体制による体力づくり
- 食育全体計画の確実な実施・自分手帳の活用による健康づくり
- 危険予測能力を育むための防災・安全教育、放射線教育の推進

特別支援教育の充実

- 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づく組織的・計画的な指導
- 長期・短期の指導のねらいや方針の明確化
- 個に応じたきめ細かな指導の工夫・改善

- 想定される困難さに対応した手立てや指導の工夫
- 保護者や周囲の児童生徒の特別支援教育への理解促進
- 保・幼・学園による切れ目のない情報交換
- 医療機関や各種専門機関との連携

河東学園公式キャラクター「かわわん」



桜モチーフの犬
(校章が桜から)

桜の花びら

桜ブローチ

スカーフは
葉のイメージ

ポンチョは9色、
9学年

本校公式キャラクターは、令和4年度に学園生からデザイン案を募集し、全校生の投票で決まりました。また、名前は、令和5年度に全校生から募集し、全校生の投票で決まりました。「かわわん」
かわいい子犬の「ワン」、全校生一人ひとりが大切な「only ONE（オンリーワン）」、そして、学園生・先生方・保護者の皆さん・地域の皆さんの結びつき「和ん」